

平成22年2月期 第1四半期決算短信

平成21年6月26日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 アオキスーパー

コード番号 9977 URL <http://www.aokisuper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宇佐美 俊之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理副本部長兼経理部長

(氏名) 大谷 亮

TEL 0567-23-3500

四半期報告書提出予定日 平成21年7月3日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第1四半期の連結業績(平成21年2月21日～平成21年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第1四半期	22,418	—	571	—	584	—	317	—
21年2月期第1四半期	22,147	11.7	685	△4.6	712	△2.6	364	△4.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第1四半期	23.79	23.65
21年2月期第1四半期	26.79	26.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第1四半期	23,718	14,049	59.2	1,058.51
21年2月期	23,573	14,056	59.6	1,044.98

(参考) 自己資本 22年2月期第1四半期 14,049百万円 21年2月期 14,056百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年2月期	—	—	—	—	—
22年2月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年2月21日～平成22年2月20日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	45,800	2.9	1,190	△11.5	1,210	△13.5	620	△16.6	46.71
通期	94,300	3.2	2,470	△9.0	2,500	△10.8	1,300	△11.8	97.94

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年2月期第1四半期 14,000,000株 21年2月期 14,000,000株

② 期末自己株式数 22年2月期第1四半期 727,224株 21年2月期 548,760株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年2月期第1四半期 13,356,032株 21年2月期第1四半期 13,600,377株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

業績予想については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱の影響により、企業業績や雇用情勢に厳しさが見られるなど、景気の減速傾向は一段と顕著となっております。また、個人消費も低迷し厳しい状況が続いております。

当流通業界におきましては、業種・業態を超えた値下げ等による店舗間競争が激化しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況におきまして当社グループは、一色新町店を4月にリニューアルオープンいたしました。

また、競合店対策のため、恒例となりました四半期に一度の大感謝祭・月に一度の日曜朝市・週に一度の100円均一等の企画を継続実施し販売促進に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期は、営業収益224億18百万円(前年同期比1.2%増)、営業利益5億71百万円(前年同期比16.6%減)、経常利益5億84百万円(前年同期比18.0%減)、四半期純利益3億17百万円(前年同期比12.8%減)と増収減益となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 食料品等の販売を目的とした小売業部門

改装店の効果と低価格販売の実施により、営業収益は221億92百万円、営業利益は4億86百万円となりました。

② 不動産賃貸部門

店舗の改装等により、営業収益は2億26百万円、営業利益は84百万円となりました。

(注)記載金額は、すべて消費税等を含まない金額としております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度に比べ、2億2百万円増加し、98億45百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度に比べ、57百万円減少し、138億73百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度に比べ、1億45百万円増加し、237億18百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度に比べ、1億75百万円増加し、71億89百万円となりました。これは、主に仕入債務等の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度に比べ、22百万円減少し、24億80百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度に比べ、1億52百万円増加し、96億69百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度に比べ、7百万円減少し、140億49百万円となりました。

また、1株当たり純資産額は、前連結会計年度に比べ、13円53銭増加し、1,058円51銭となりました。なお、自己資本比率は、前連結会計年度に比べ、0.4%減少いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の期末残高は、82億21百万円となりました。これは主に、フリーキャッシュ・フロー(営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローを差引いたもの)が、4億35百万円の増加となったこと、及び、財務活動によるキャッシュ・フローが3億29百万円減少したことによるものであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、5億22百万円となりました。これは、主に営業収入によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、86百万円となりました。これは、主に店舗等の設備投資による有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、3億29百万円となりました。これは、主に自己株式の買付け等による自己株式の取得2億43百万円と配当金の支払額1億34百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想については、概ね予想どおり推移しており、当初の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この変更に伴う損益に与える影響は、軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,221,011	8,114,226
売掛金	812	763
商品	1,137,014	1,096,805
貯蔵品	10,139	13,301
その他	476,873	418,108
貸倒引当金	△60	△60
流動資産合計	9,845,792	9,643,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,914,774	6,998,485
土地	3,292,303	3,292,303
その他(純額)	730,462	689,640
有形固定資産合計	10,937,539	10,980,429
無形固定資産	294,181	295,389
投資その他の資産		
差入保証金	1,894,041	1,918,690
その他	791,527	778,952
貸倒引当金	△44,280	△43,360
投資その他の資産合計	2,641,289	2,654,282
固定資産合計	13,873,010	13,930,101
資産合計	23,718,803	23,573,246
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,053,349	4,754,401
1年内返済予定の長期借入金	50,000	50,000
未払法人税等	341,492	709,800
賞与引当金	333,080	177,640
役員賞与引当金	11,000	55,200
その他	1,400,120	1,266,686
流動負債合計	7,189,042	7,013,727
固定負債		
長期借入金	150,000	150,000
退職給付引当金	400,332	397,126
長期預り保証金	1,679,954	1,705,514
その他	250,142	250,541
固定負債合計	2,480,430	2,503,182
負債合計	9,669,473	9,516,909

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,372,000	1,372,000
資本剰余金	1,604,090	1,604,090
利益剰余金	11,648,244	11,473,110
自己株式	△590,389	△404,402
株主資本合計	14,033,944	14,044,797
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,385	11,539
評価・換算差額等合計	15,385	11,539
純資産合計	14,049,329	14,056,336
負債純資産合計	23,718,803	23,573,246

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年5月20日)
売上高	21,715,984
売上原価	18,255,604
売上総利益	3,460,379
その他の営業収入	702,642
営業総利益	4,163,021
販売費及び一般管理費	3,591,572
営業利益	571,449
営業外収益	
受取利息	3,278
受取配当金	307
その他	12,936
営業外収益合計	16,521
営業外費用	
支払利息	903
収納差金	1,069
自己株式取得費用	1,724
営業外費用合計	3,698
経常利益	584,272
特別損失	
固定資産除却損	10,384
その他	920
特別損失合計	11,304
税金等調整前四半期純利益	572,967
法人税、住民税及び事業税	323,848
法人税等調整額	△68,677
法人税等合計	255,171
四半期純利益	317,796

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成21年2月21日
至平成21年5月20日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	572,967
減価償却費	203,288
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	920
賞与引当金の増減額 (△は減少)	155,440
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△44,200
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,206
受取利息及び受取配当金	△3,585
支払利息	903
固定資産除却損	5,483
売上債権の増減額 (△は増加)	△49
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△37,047
未収入金の増減額 (△は増加)	55,166
仕入債務の増減額 (△は減少)	298,948
未払金の増減額 (△は減少)	△65,050
未払消費税等の増減額 (△は減少)	40,994
未払費用の増減額 (△は減少)	85,532
その他	△58,626
小計	1,214,294
利息及び配当金の受取額	608
利息の支払額	△306
法人税等の支払額	△692,156
営業活動によるキャッシュ・フロー	522,440
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△91,181
無形固定資産の取得による支出	△2,900
貸付けによる支出	△640
貸付金の回収による収入	820
差入保証金の差入による支出	△8,950
差入保証金の回収による収入	36,538
預り保証金の返還による支出	△36,060
預り保証金の受入による収入	9,903
その他	5,934
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,535
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△243,411
自己株式の売却による収入	49,275
配当金の支払額	△134,983
財務活動によるキャッシュ・フロー	△329,119
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	106,784
現金及び現金同等物の期首残高	8,114,226
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,221,011

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年2月21日 至 平成21年5月20日)

	小売業 (千円)	不動産賃貸業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	22,192,460	226,165	22,418,626	—	22,418,626
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	22,354	22,354	(22,354)	—
計	22,192,460	248,520	22,440,980	(22,354)	22,418,626
営業利益	486,774	84,675	571,449	—	571,449

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主要な内訳

(1) 小売業……………食料品等の小売事業

(2) 不動産賃貸業……店舗の運営、管理及び不動産賃貸業

【所在地セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年2月21日 至 平成21年5月20日)

当企業集団は国内に所在しているため、所在地別セグメント情報については、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年2月21日 至 平成21年5月20日)

海外売上高に該当する取引がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前期末残高(千円)	1,372,000	1,604,090	11,473,110	△404,402	14,044,797
当第1四半期末までの変動額					
剰余金の配当			△134,512		△134,512
当期純利益			317,796		317,796
自己株式の取得 (注)				△243,411	△243,411
自己株式の処分			△8,149	57,424	49,275
当第1四半期末までの変動額合計(千円)	—	—	175,134	△185,986	△10,852
当第1四半期末残高(千円)	1,372,000	1,604,090	11,648,244	△590,389	14,033,944

(注) 平成20年8月8日開催の取締役会の決議に基づき、平成21年2月21日から平成21年4月30日において当社の普通株式246,000株を238,332千円にて取得しております。

「参考」

前第1四半期に係る財務諸表等

(要約) 前四半期連結損益計算書

区 分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年2月21日 至 平成20年5月20日)
	金額(千円)
I 売上高	21,458,695
II 売上原価	17,982,228
売上総利益	3,476,467
III その他の営業収入	
1. 不動産賃貸収入	219,171
2. その他収入	469,820
営業総利益	4,165,460
IV 販売費及び一般管理費	3,480,206
営業利益	685,253
V 営業外収益	30,135
VI 営業外費用	2,565
経常利益	712,823
VII 特別利益	2
VIII 特別損失	34,420
税金等調整前 四半期純利益	678,405
法人税、住民税 及び事業税	395,347
法人税等調整額	△81,343
四半期純利益	364,401

(要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年2月21日 至平成20年5月20日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	678,405
減価償却費	209,616
貸倒引当金の増加額	1,110
賞与引当金の増加額	165,070
役員賞与引当金の減少額(△)	△44,200
退職給付引当金の増加額	6,420
受取利息及び受取配当金	△11,805
支払利息	635
その他の損益調整	1,629
固定資産除却損・売却損	20,930
固定資産売却益(△)	△2
売上債権の増加額(△)	△270
たな卸資産の増加額(△)	△129,034
未収入金の減少額	58,691
その他の流動資産の増加額(△)	△73,283
仕入債務の増加額	233,679
未払金の減少額(△)	△20,820
未払消費税等の増加額	26,290
未払費用の増加額	82,450
その他流動負債の増加額	24,692
小計	1,230,204
利息及び配当金の受取額	8,692
法人税等の支払額	△490,397
営業活動によるキャッシュ・フロー	748,498
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△448,841
有形固定資産の売却による収入	62
無形固定資産の取得による支出	△2,505
貸付けによる支出	△2,200
貸付金の回収による収入	743
差入保証金の支払額	△2,591
差入保証金の返還による収入	28,891
預り保証金の返還による支出	△34,250
預り保証金の受取による収入	6,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△453,892
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△90,462
自己株式の売却による収入	2,700
配当金の支払額	△137,127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△224,890
IV 現金及び現金同等物の増加額	69,715
V 現金及び現金同等物の期首残高	7,059,621
VI 現金及び現金同等物の 四半期末残高	7,129,337